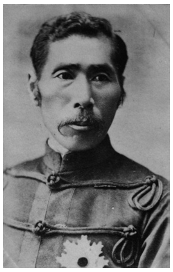
PART3 日清戦争と北清事変

Chapter1　日清戦争と三国干渉

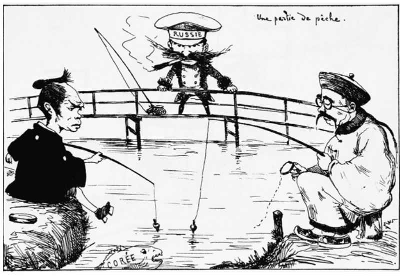
目標
日清戦争が起こった原因を理解しよう。
日清戦争の影響をおさえよう。

1　対アジア国内世論の動向


山県有朋

①日本人のアジア観の変化→民権派からもアジア蔑視・国権的風潮強まる
　A　壬午軍乱・甲申事変による朝鮮における日本情勢の悪化
　B　アヘン戦争・アロー戦争・清仏戦争における清の３連敗
　C　東アジア世界で近代化において一歩先んじたという優越感
②経過
　1885年　**福沢諭吉**の〔　　　　　　　〕→「脱亜入欧」を主張する国権論
　　　　　大阪事件→大井憲太郎・景山英子ら旧自由党による朝鮮改革計画
　1889年～防穀令事件（～93年）
　1890年　第一議会における**山県有朋首相**の「**主権線（国境）・利益線（朝鮮）**」演説
　　　　　※政府は軍備拡大予算案を議会に提出し民党を切り崩す。

2　日清戦争



漁夫の利

①〔　　　　〕**戦争（1894～95年）**の背景
　A　朝鮮支配をめぐる日清両国の対立
　B　近代化を経た東アジアの盟主争い
②開戦→直前に**日英通商航海条約**締結により日本が
　　　　法権回復
　A　〔　　　　　　　　　　　　　〕〔**東学党の乱**〕（1894年１月）
　B　日本軍が王宮を占領して**閔妃**政権に代わる**大院君**政権を立て清軍排除の依頼を受ける
　C　豊島沖の海戦（７月25日）→日清双方が宣戦布告（８月１日）
③経過→大本営を東京に設置し開戦後に広島に移転
　A　陸軍→遼東半島完全占領
　B　海軍→**黄海の海戦**などにより清の北洋艦隊全滅

④結果→〔　　　　　〕**条約〔日清講和条約〕**（1895年）で講和

A　調印

日本全権＝**伊藤博文**首相・〔　　　　　　　　　〕外相　清国全権＝〔　　　　　　　〕

B　内容

あ　**清は朝鮮の独立を承認**（＝宗主権を放棄）

い　清は〔　　　　　〕**半島**及び〔　　　　　〕・**澎湖諸島**を日本に割譲

う　清は**賠償金２億両〔約３億 1000 万円〕**を日本に支払う

え　清は新たに沙市・重慶・蘇州・杭州の４港を開市・開港

日清戦争における日本軍の進路

C　影響→**日本が朝鮮市場を確保**し大陸進出の第一歩を踏み出す

あ　賠償金により金本位制が確立（1897年，貨幣法）

い　**尖閣諸島を含む琉球の帰属問題が解決**

う　日清通商航海条約の締結（1896年）→日本優位の不平等条約

3　三国干渉と台湾経営

①日本に対する〔　　　　　〕**干渉（1895年）**の内容と背景

下関条約締結直後に**ロシア・フランス・ドイツ**の３国が遼東半島の清国返還を要求

A　ロシア→**満洲への南下政策に日本の遼東半島領有は脅威となるため**

B　フランス→露仏同盟を結ぶロシアに同調

C　ドイツ→ロシアの関心をヨーロッパから逸らし中国進出の足場を得る

②三国干渉の経過と結果

A　日本は**還付金 3000 万両（約 4500 万円）**を代償にやむなく受諾

B　日本国民の反ロシア意識が高揚し**ナショナリズム〔国家主義〕**が高揚

C　「**臥薪嘗胆**」をスローガンに挙国一致の戦後経営にあたる

③**台湾・澎湖諸島**の**植民地**支配

〔　　　　　　　　　　　〕を設置し初代総督に樺山資紀を任命→台湾征服戦争を武力で鎮圧

※はじめ軍政のち民政を実施。土地調査事業を行い台湾銀行や台北帝国大学を設置。

まとめ　朝鮮支配と東アジアの盟主の座をかけ日清戦争が起こった。
日清戦争の結果，日本は大陸進出の足掛かりを得た。

Chapter2　北清事変と日英同盟

目標
日清戦争後，藩閥勢力と政党勢力が妥協した背景を理解しよう。
イギリスが「光栄ある孤立」を捨て，日英同盟を結んだ目的を知ろう。

1　藩閥と政党の妥協

①第二次伊藤博文内閣〔元勲内閣〕（1892～96年）

日清戦争後に自由党の板垣退助が内務大臣として入閣。立憲改進党の大隈重信は対外硬派連合〔硬六派〕のうち五派を統合して**進歩党**を結成し自由党に対抗。

大隈重信

②第二次松方正義内閣〔松隈内閣〕（1896～98年）

進歩党の大隈重信が外務大臣として入閣するが，地租増徴に反対して辞任。

③第三次伊藤博文内閣（1898年）

地租増徴に反対した自由党と進歩党が合同,〔　　　　　　〕を結成する。

④**第一次大隈重信内閣〔隈板内閣〕**（1898年，**憲政党**）→約４カ月で瓦解

首相兼外相に大隈，内相に板垣を擁する**初の政党内閣**。

※尾崎行雄文相の共和演説事件による辞任を契機に旧自由党と旧進歩党が決裂。それぞれ**憲政党**（星亨・尾崎行雄ら）と**憲政本党**（大隈重信・犬養毅ら）を結成。

⑤**第二次山県有朋内閣**（1898～1900年）

憲政党と提携し地租増徴を達成した後，文官任用令改正・**治安警察法**・衆議院議員選挙法改正（直接国税 10 円）・**軍部大臣現役武官制**を実施。

※憲政党が伊藤博文の勢力と接近し，1900年に〔　　　　　　　　　〕を結成。

⑥第四次伊藤博文内閣（1900～01年）→立憲政友会系の中間内閣

内閣退陣後，伊藤や山県は憲法に規定のない**元老**に退く。

2　列強の中国分割

「眠れる獅子」清の３連敗が，**租借**権を利用した列強の**帝国主義**的進出につながる。

①日本→福建省の他国への不割譲（1898年）

②〔　　　　　　〕→**山東半島の膠州湾**の 99年租借（1898年）

③〔　　　　　　〕→**遼東半島の旅順・大連**の 25年租借（1898年）

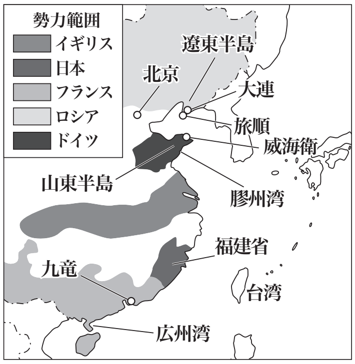
1897年に国号を**大韓帝国〔韓国〕**と変えた朝鮮にも大きな影響力を持つ

④**イギリス→**九竜半島の 99年・山東半島の威海衛の 25年租借（1898年）

⑤**フランス→**広州湾の 99年租借（1899年）

⑥［　　　　　　　　］→国務長官**ジョン＝ヘイ**の**門戸開放宣言**（1899～1900年）

中国の**門戸開放・機会均等・領土保全**（＝極東三原則）を提案し，モンロー主義を転換。



列強の中国分割

3　北清事変と日英同盟

①［　　　　　］**事変〔義和団事件〕**（1900～01年）

A　［　　　　　　］の蜂起（1899年）→「**扶清滅洋**」を唱え山東省で蜂起

B　清の**西太后**政権が**８カ国連合軍**と戦う

日・露・仏・独・墺・伊・英・米

C　［　　　　　　　　　　］〔**辛丑和約**〕の締結（1901年）

賠償金支払いと公使館守備隊の北京駐留を列国に承認

8 カ国連合軍

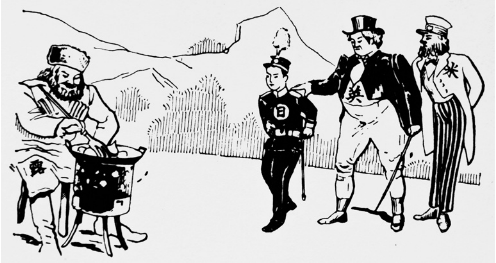
②［　　　　　　　　］（1902年～）→のち 1905年・1911年に改正

A　**ロシアの南下政策**と日英の利害対立

B　日本政府内部の意見対立

日露協商論〔満韓交換論〕と**日英同盟論**〔対露開戦論〕

C　**第一次日英同盟協約**の締結→イギリスは「光栄ある孤立」を放棄


日英同盟の風刺画

あ　**極東**における日英両国の利益保護の協同行動（地域限定・期間５年）

い　利益保護のための他国との戦争における他の１国の厳正中立

う　他の第３国参戦の際の協同戦闘の義務（＝防御同盟）

まとめ　日清戦争後は日露戦争を控えていたため，藩閥と政党の妥協が進んだ。
ロシアの南下政策に対抗するため，イギリスは日本と地域限定・期間限定の防御同盟を結んだ。

第5講　PART3　確認問題

1 脱亜論を唱えた人物はだれか。

① 大井憲太郎　② 福沢諭吉
③ 中江兆民　④ 景山英子

2 日清戦争の直接の原因となった反乱を何というか。

① 壬午軍乱　② 甲午農民戦争
③ 甲申事変　④ 北清事変

3 下関条約において日本が得たのはどれか。

① 南樺太　② 旅順租借権
③ 澎湖諸島　④ カムチャツカ漁業権

4 ロシアの関心をヨーロッパから逸らし中国進出の足場を得ることを目的として三国干渉を行った国はどこか。

① ロシア　② ドイツ
③ イタリア　④ フランス

5 三国干渉後，日本が掲げたスローガンは何か。

① 扶清滅洋　② 滅満興漢
③ 臥薪嘗胆　④ 殖産興業

6 立憲改進党の大隈重信が，対外硬派連合〔硬六派〕のうち五派を統合して 1896年に結成した政党を何というか。

① 進歩党　② 立憲政友会
③ 憲政党　④ 憲政本党

7 初の政党内閣を組織した内閣はどれか。

① 第二次松方正義内閣　② 第三次伊藤博文内閣
③ 第一次大隈重信内閣　④ 第二次山県有朋内閣

8 日清戦争後の中国分割で，山東半島の威海衛と九竜半島の租借権を得た国はどこか。

① ロシア　② ドイツ
③ イギリス　④ フランス

9 北清事変後に結ばれた条約を何というか。

① 日朝修好条規　② 日露和親条約
③ 天津条約　④ 北京議定書〔辛丑和約〕

10 満韓交換論とも呼ばれる考え方はどれか。

① 日露協商論　② 日英同盟論
③ 脱亜論　④ 対露開戦論

第 5 講　PART3　確認問題 解答

1 解答：②　脱亜論は，「脱亜入欧」を主張する国権論である。

①：旧自由党員で大阪事件を起こした。
③：自由民権論を説いた。
④：旧自由党員で大阪事件を起こした。

2 解答：②　甲午農民戦争は東学党の乱とも呼ばれ，東学とは反キリスト教の民間信仰のこと。

①：1882 年に起こった，朝鮮王朝の閔氏政権とそれを支えた日本に対する兵士の反乱。
③：1884 年に朝鮮で起こった，金玉均ら日本と結んだ独立党のクーデタ。
④：1900 年に中国で起こった，排外主義の民衆蜂起。

3 解答：③　清は澎湖諸島のほか遼東半島及び台湾も日本に割譲した。

①：日露戦争の講和条約であるポーツマス条約で得た。
②：日露戦争の講和条約であるポーツマス条約で得た。
④：日露戦争の講和条約であるポーツマス条約で得た。

4 解答：②　三国干渉とは，下関条約締結直後にロシア・フランス・ドイツの 3 国が遼東半島の清国返還を要求したできごと。

①：満洲への南下政策に日本の遼東半島領有は脅威となることから，三国干渉を行った。
③：三国干渉には加わっていない。
④：露仏同盟を結ぶロシアに同調して三国干渉を行った。

5 **解答：③**

三国干渉後,「臥薪嘗胆」をスローガンに挙国一致の戦後経営にあたった。

①：北清事変〔義和団事件〕におけるスローガン。
②：中国で起こった太平天国の乱におけるスローガン。
④：明治新政府におけるスローガン。

6 **解答：①**

大隈重信は自由党に対抗するために進歩党を結成した。

②：憲政党が伊藤博文の勢力と接近し,1900 年に結成された政党。
③：地租増徴に反対した自由党と進歩党が合同し，1898 年に成立した政党。
④：憲政党分裂により，1898 年に組織された旧進歩党系の政党。

7 **解答：③**

第一次大隈重信内閣〔隈板内閣〕は，首相兼外相に大隈重信，内相に板垣退助を擁する初の政党内閣であった。

①：松隈内閣と呼ばれる。
②：憲政党が結成された。
④：軍部大臣現役武官制を実施した。

8 **解答：③**

イギリスは，九竜半島を 99 年，山東半島の威海衛を 25 年租借することになった。

①：遼東半島の旅順・大連を 25 年租借。
②：山東半島の膠州湾を 99 年租借。
④：広州湾を 99 年租借。

9 **解答：④**

辛丑和約は北京議定書とも呼ばれ，賠償金支払いと公使館守備隊の北京駐留を清に承認させた。

①：江華島事件後の，1876 年に日本と朝鮮との間で結ばれた条約。
②：1855 年に，江戸幕府とロシアとの間で結ばれた条約。
③：1885 年，甲申政変の後に日本と清との間で結ばれた朝鮮に関する条約。

10 **解答：①**

ロシアの満州経営の自由を認める代わりに，日本の韓国における優越権を認めさせるという考え。

②：対露開戦論とも呼ばれ，ロシアとの開戦も辞さないとする考え。
③：福沢諭吉が主張した，「脱亜入欧」を主張する国権論。
④：日英同盟論とも呼ばれる。